

本部紹介 リテール&サービス DevOps本部

Our Vision 顧客の満足と社員のやりがいの実現

当本部では、上記ビジョンの実現に向け、CTCオリジナルの叡智を活用した新たな価値の創出を実現出来る「未来の運用保守サービス」への変革にチャレンジしています。

そのために、我々のコアコンピタンスである“顧客のシステムと業務の知識”を更に進化させることや、CTCの得意な新しい技術の活用を更に高度化させることに取り組んでいます。

運用保守サービスにこそ真の顧客との伴走や共創、そして価値創出の種がある。この想いに関心があり、共感頂ける方を熱望しています。この道のりは始まったばかりです。

顧客との対話が最重要で、共同で問題を解決し価値を生み出したいと思う人。皆さんと共に一緒に理想的な環境の実現とサービスの変革に挑戦させて下さい！

本部の組織構成

リテール&サービス DevOps本部

社員数：141名 外部人材：225名
正社員：121名 派遣：66名
嘱託：7名 委託：159名
出向：13名

顧客領域	大手商社、大手コンビニエンスストア、大手飲料メーカー
ビジネスモデル	保守運用サービス：約70% 開発・SI：約30%
規模/1案件あたり	数百万円～十数億円/件
人数/1案件あたり	数名～数十名/案件
年齢構成	20代：24% 40代：40% 30代：22% 50歳以上：14%
新卒中途割合	新卒：81% 中途19%

DevOps 第1部

- ◆ 総合商社、飲料メーカーおよびその関連会社向け本社基幹システム等の運用保守とエンハンス開発の実行。

DevOps 第2部

- ◆ コンビニエンスストア業界に対する開発SI案件の推進、運用保守とエンハンス開発、業務・システム運用のサポート。

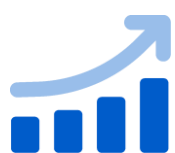
DevOps 第3部

- ◆ 飲料メーカーおよびその関連会社を中心とした新規開発、大型再構築案件やコンビニエンスストア等も含めた既存システム大型改修案件等のSI開発。
- ◆ 組織横断での新技術の活用推進。

DevOps サービス技術統括部

- ◆ 運用保守サービス全体の統轄管理とサービス変革の主管。
- ◆ AIを中心とした新技術の活用とサービスへの適用による高度化・効率化の本部内主管。
- ◆ 各社への業務効率化ソリューション等の提供。
- ◆ 飲料メーカーおよびその関連会社に対する各種システムのユーザー支援（BPO）業務。

本部の特徴や注力していること



名だたるお客様のビジネスを支える基幹システムを守る

仕事の内容は、基幹システムの運用だけでなくシステムのエンハンスなど開発業務も担当しています。
業界をけん引する顧客企業のビジネスを守り、市場や社会の変化に応じた運用・エンハンスを行っています。
安定稼働を守りつつ、お客様の課題解決とビジネス成長への貢献を通して社会の発展に貢献しています。



叡智の共有と価値の創出

本部内で“知的資本”を共有することで、視野は広く、視点は高く、新しい気づきやアイデアを生み出しています。
そのことが従来の“運用保守サービス”の変革をもたらし、これまでになく価値を生み出していく。そこに挑戦していきます。
エンジニアのパワーをより価値のあるところに集中させ、お客様に高い価値を感じてもらえるよう一丸となって取り組んでいます。

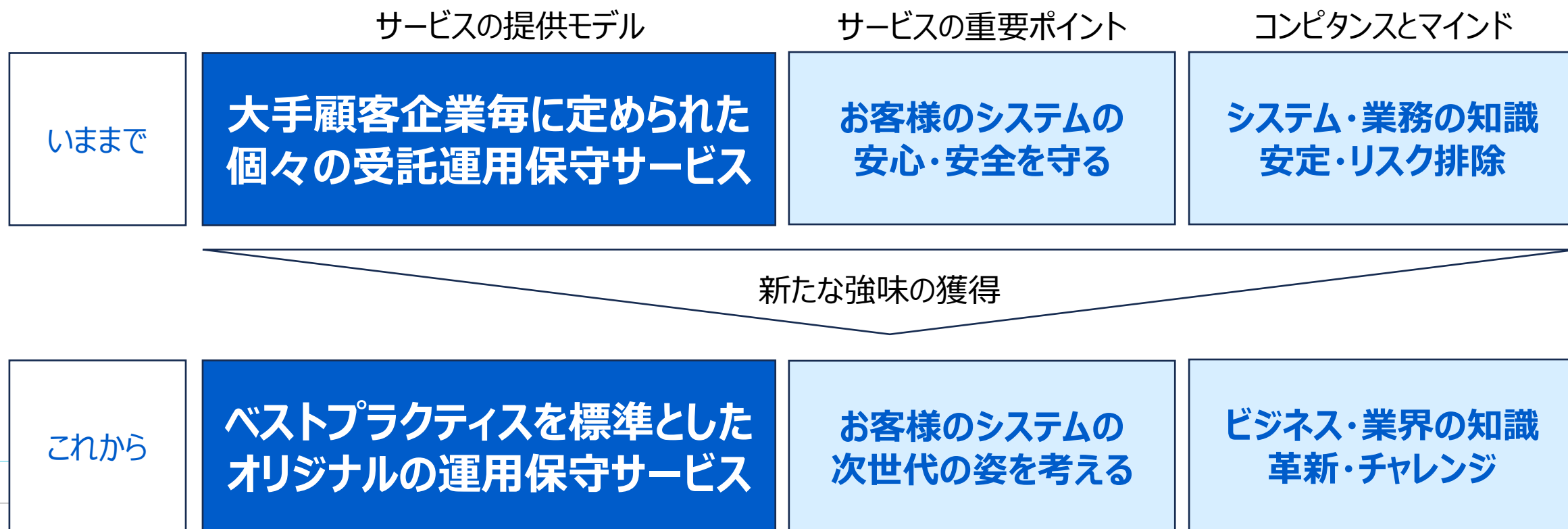


自ら学び・ともに成長できる環境

部門を超えた交流を積極的に促すことで、知識とスキルの幅を広げていくことが出来る環境を整えています。
顧客との対話を通して、ビジネスの内容を知り、顧客の課題を理解することで課題解決力の発展・向上ができます。
出来上がったシステムのエンハンス開発だけでなく、未来の運用保守の実現に向けてAI等の新たな技術にもチャレンジすることが出来ます。
“成長を熱望する”方に対しては将来に向けた自己研鑽に必要な時間や環境を提供しています。

運用保守サービス変革へのチャレンジ

顧客満足と社員のやりがいを実現する次世代運用保守サービスへ



当本部ではこんな経験を積むことができます。



顧客のビジネスや業界を知るコンピタンスの獲得

技術はどんどん変化・陳腐化していきます。しかしお客様のビジネスの根幹は長きに渡るものであり、得た業界知識やコンピタンスが活用できます。何よりも“Why CTC?” に応えることが出来る唯一無二の能力となります。そのコンピタンスは運用保守のみならず新たな開発プロジェクトや新たな価値を持つサービスの創出に活用出来ます。



名だたる業界トップクラス顧客との関係性と提案/貢献

名だたる業界トップクラス企業のITライフサイクル全般を支える仕事出来ます。また、現行システムの改修のみならず、新たな取り組みを積極的に提案することももちろんできます。中長期ではお客様と共にビジネスを創出するようなことにも挑戦していける強い関係性があります。



幅広いシステム群に関わることが出来るエンジニアリング環境

製造業、商社、小売業など多様なアプリケーションとそれを支える多様な技術を学び、顧客の課題に対する解決策を考え、実現することが出来ます。AI活用などの新しい技術への挑戦も積極的に行っています。更にローテーション等を踏まえて幅広い顧客とシステム経験、知識蓄積を通じて、多様なキャリアアップを実現します。